



## 46 南アフリカ クワンデベレ 給水事業

国家計画の変更により事業は中止  
案件実施についてより慎重な判断が必要

承諾額／実行額 30億9,700万円／18億1,300万円  
借入契約調印 1996年5月  
借入契約条件 金利2.5%、返済25年(うち据置7年)、一般アンタイド  
貸付完了 2003年11月  
実施機関 水資源・森林省 URL: <http://www.dwaf.gov.za/>

### 本事業の目的

旧自治ホームランドの一つであるクワンデベレ地域において、導水管・送水管の敷設、浄水場・ポンプ施設の拡張等を行うことにより、同地域の給水需要への対応をはかり、衛生環境の改善および産業の活性化に寄与することを目的とする。

### 本事業実施と国家計画等との整合性(妥当性) 評価C

審査時点では、本事業は同国の開発ニーズ、開発政策と整合的であったとともに、アパルトヘイト廃止後の新政治体制移行直後の国家開発を支援することは日本にとって重要な意義があったと考えられる。しかし、1997年の同国憲法施行に伴い同地域の水セクター計画が全面的に見直され、本事業計画の前提となる人口推移、需給のバランス、取水コストが適切に評価されていなかったことなどが判明し、2000年時点で本事業は打ち切られることとなった。よって、事後評価時において、本事業の実施は国家計画等と合致しておらず、事業実施の妥当性は低い。

### 本事業実施による効果(有効性・インパクト) 評価D/A

同地域の水セクター計画が全面的に見直され、当初計画のグレートドライダムの取水は行われず、本事業のコンポーネントの多くが中断された。このため同地域への給水は近隣地域の事業者が行っており、現在の給水体制・経路で本事業の有効性を評価することは困難である。当初計画では生活環境の改善、雇用創出等の間接効果を期待していたが、本



浄水場施設内

事業で実施された工事は限定的であるため、効果発現の確認、有効性の評価は困難である。

### 事業実施の経済性(効率性) 評価D/A

本事業は、同地域水セクター計画の見直しにより、2000年に計画が中断となり、当初計画の11コンポーネントのうち4コンポーネントのみ実施された。よって、計画の大部分が中断されている状況では、総合的な期間、事業の効率性を正確に判断することは困難である。

### 今後の展望(持続性) 評価C

本事業は実施機関の能力、維持管理機能、財務面いずれも問題があり、持続性についての評価は低い。2006年以降、維持管理機関に対する中央政府からの人材および資金面の支援が削減されており、また、体制面においてもきわめて脆弱な状態にあることから水供給サービスを適切に維持管理することは困難である。

### 結論と教訓・提言

以上により、事業実施の前提となる計画が全面的に見直され、多くのコンポーネントの実施を中断したことから、本事業の評価は低いといえる。教訓としては、事前審査の段階において、本事業のように日本にとって政治的に重要な意義を有する案件についても、経済合理性などを十分に考慮した上で、案件実施の是非の判断を行うことが挙げられる。

#### 開発途上国専門家の意見

給水事業を実施するうえで、住民の参加、健康・暮らしへの影響を考慮することが重要である。住民の参加を促すことでアカウンタビリティの向上、事前の合意形成をはかることができる。

専門家の氏名: Ms. Monene Matsie Mamabolo (NGO)  
現在ツワネ大学修士課程在学中(開発学)。学びながら、Boinene Consulting Firmにてマネージングパートナーとして、CARE等のコミュニティベースのプロジェクトに携わる。専門は、組織開発、生計持続アプローチ等。